

# 平時に確認

# 避難行動判定フロー

## あなたがとるべき避難行動は？ 必ず取組みましょう

ハザードマップ\*で自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。

\*ハザードマップは浸水や土砂災害が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。着色されていないところでも災害が起こる可能性があります。

家がある場所に色が塗られていますか？

いいえ

色が塗られていなくても、周り比べて低い土地や崖のそばなどにお住まいの方は、市区町村からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。

はい

災害の危険があるので、原則として\*、自宅の外に避難が必要です。

例外

※浸水の危険があっても、  
①洪水により家屋が倒壊または崩落してしまうおそれの高い区域の外側である  
②浸水する深さよりも高いところにいる  
③浸水しても水がひくまで我慢できる、水・食糧などの備えが十分にある場合は自宅に留まり安全確保をすることも可能です。  
※土砂災害の危険があっても、十分堅牢なマンション等の上層階に住んでいる場合は自宅に留まり安全確保をすることも可能です。

ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか？

いいえ

はい

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

警戒レベル3が出たら、**安全な親戚や知人宅に避難**しましょう(日頃から相談しておきましょう)

いいえ

警戒レベル3が出たら、市区町村が指定している**指定緊急避難場所**に避難しましょう

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

警戒レベル4が出たら、**安全な親戚や知人宅に避難**しましょう(日頃から相談しておきましょう)

いいえ

警戒レベル4が出たら、市区町村が指定している**指定緊急避難場所**に避難しましょう

●**日頃からの備えを忘れずに**  
土砂災害から命を守るために、日頃から備えられることがあります。さまざまな準備を個人や家庭、地域で行いましょう。

◆**危険箇所や避難経路の確認**  
あらかじめ危険箇所や避難経路、避難

所をハザードマップ(下記参照)で確認しましょう。

◆**災害時の取るべき行動を確認**  
「ハザードマップ」や「避難行動判定フロー(左表)」によりお住まいの地域の災害リスクや住宅条件を考慮したうえでご自身のとるべき避難行動や適切な避難先

を判断しましょう。

◆**非常持出品の確認**  
緊急時にすぐに避難できるよう、食料品や飲料水、常備薬などの非常持出品を最低3日分は用意しておきましょう。

↑詳しくはこちらから



## 避難場所における新型コロナウイルス感染症への対応について

新型コロナウイルス感染症に感染するおそれがある状況において、災害が発生し避難所を開設する場合には、感染症対策に万全を期することが重要となっています。

また、災害時には断水により手指の流水洗浄ができない可能性もあることや、避難場所など密集した環境下での集団生活などにより、ノロウイルス等による感染性胃腸炎やインフルエンザ、新型コロナウイルスなどの感染が拡大するリスクが高まります。

新型コロナウイルスが終息する前に避難を必要とする地震や風水害が起きたらどうなるのか、平時の事前準備および災害時の対応を考えておきましょう。

- ◎「避難」とは「難」を「避」けることであり、安全な場所にいる人は避難所に行かないという選択肢もあります。
- ◎避難先は市指定の避難場所だけではありません。安全な親戚・知人宅に避難することも考えて、日頃から相談しておきましょう。
- ◎避難所へ避難する場合は、マスクを着用し、咳エチケットに心がけましょう。また、体温計や手指消毒薬、タオルなど感染防止に関する物品を持ち込みましょう。詳しくはこちらから→

